

常任委員会審査概要

議会の情報をみなさんにお伝えするため、
3つの常任委員会での審査概要をご紹介します。

総務常任委員会

委員長 奥村 孝宏

●議第1号 専決処分の承認を求めるについて

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について「国から交付されるまでのスケジュールはどのようなか」との質疑に対し、「当交付金は、令和6年度に実施された定額減税の調整給付に不足がある方への調整給付分と併せて交付されるものである。事務は9月以降に完了するため、交付はそれ以降となる」との答弁がありました。

●議第10号 令和6年度多治見市一般会計補正予算（第7号）（所管部分）

「財政調整基金、庁舎建設基金、職員退職手当基金、修繕引当基金および市債償還対策基金の残高は、現在どのようなか」との質疑に対し、「今年度末時点の各基金の残高見込みは、財政調整基金が77億円、庁舎建設基金が29億円、職員退職手当基金は19億円、修繕引当金は9億円8千万円、市債償還対策基金は35億円である」との答弁がありました。

●議第19号 令和7年度多治見市一般会計予算（所管部分）

「寄付金について、歳入予算を7億2千万円ほどとしているが、議第10号の令和6年度多治見市一般会計補正予算においては歳入予算を減額して5億円として

経済建設常任委員会

委員長 片山 竜美

●議第19号 令和7年度多治見市一般会計予算（所管部分）について

市制記念関連事業助成費における、花火大会の警備費の高騰への対応について質疑があり、「警備費の高騰に加え、大阪万博の開催も相まって警備員の確保が難しくなっており、令和7年度は秋開催を考えている。秋は、日没が早いので開始時間が早くなり撤収を早めることができるため警備費を削減でき、動線を工夫すること、さらに警備費を軽減できる」との答弁がありました。

地域公共交通対策関係費における、自動運転の可能性を探るための調査の方法と今後の見通しについて質疑があり、「ホワイトタウン団地内の外周路において、路線バスを代替する形でのレベル2運行の検証を予定している。自動運転は、社会実装にはハードルが高いが、遠い未来の技術ではないと思っている。現段階から取組を行うことで、未来に備えるのが、この研究の目的である。レベル2の運行にもハードルはあるが、ハードルが最も低い場所としてホワイトタウンを選定した。他の地域での運行、試験は計画していない」との答弁がありました。

有害鳥獣捕獲事業費における、イノシシ用箱わなが10基増えることによる猟友会員の増員や箱わなの設置方法について質疑があり、「箱わなは相当大きく重いので、設置には危険を伴う。猟友会の会員の増員はないが、10基増やすことは了承済みで、今後、猟友会と

厚生環境教育常任委員会

委員長 若尾 敏之

●議第18号 令和6年度多治見市病院事業会計補正予算（第2号）について

建設改良費（固定資産購入費）の当初の計画について質疑があり、「産科を開設することになった場合に、企業債で借り入れをし、速やかに医療機器を購入するための予算を計上していたが、開設に至らなかったため減額するものである。産科医師や助産師および看護師の確保は、全国的にも厳しく、産科の開設は社会医療法人厚生会に引き続きお願いをしているが、現実的には難しい」との答弁がありました。

●議第19号 令和7年度多治見市一般会計予算（所管部分）

地域子育て支援ネットワークづくり事業費における「たじみこどもフェスタ」に係る予算、イベントの目的や魅力、応募状況などについて質疑があり、「こどもフェスタの関連事業費を約500万円計上している。前回からこどもフェスタに来場する子どもが笑顔になるイベントをしたいという同じ思いを持った出席者に企画を考えていただいている。また、子育て・子育て応援大使の小野あつこさんに、早い段階から、積極的ないろいろな形で公演の情報発信をしていただいている。その相乗効果により集客につながっていると考えている。子どもたちが主役になって、楽しんで様々な体験を通して、新しい発見をして夢を描

常任委員会審査概要

付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
承第1号	専決処分の承認を求めるについて	承認
議第1号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を制定するについて	原案可決
議第3号	多治見市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するについて	
議第4号	多治見市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するについて	
議第10号	令和6年度多治見市一般会計補正予算（第7号）（所管部分）	
議第19号	令和7年度多治見市一般会計予算（所管部分）	
議第46号	多治見市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正するについて	

いる。令和7年度は、ふるさと納税等で増収する見込みがあるのか」との質疑に対し、「ふるさと応援寄附金は、新年度予算で7億円を計上しており、令和6年度当初予算から1億円を増やした。現在、ふるさと納税のサイトとしてAmazonを新たに加えるなど、申込みできるサイトを強化しており、返礼品についても、補助金を出して新たな魅力ある返礼品を用意するなど取り組んでいる。ふるさと納税は全庁的に取り組みを強化しており、それを見越したものである。」との答弁がありました。

また、「消防団員の充足率の推移はどのようか。」との質疑に対し、「消防団員の充足率は、3月1日現在で、定員493人のうち、実員が426人で、充足率は86・4％である。令和6年4月1日と比べて3％弱増えているとの答弁がありました。

付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第7号	多治見市手数料条例の一部を改正するについて	原案可決
議第9号	多治見市営住宅管理条例の一部を改正するについて	
議第10号	令和6年度多治見市一般会計補正予算（第7号）（所管部分）	
議第19号	令和7年度多治見市一般会計予算（所管部分）	

ともに、設置数の少ない場所を優先し効果的な場所を検討して1つずつ設置する予定である。」との答弁がありました。

耐震診断促進事業費における、令和7年度の新規事業である耐震シェルターへの整備費補助の導入経緯について質疑があり、「耐震シェルターとは、建物そのものを耐震化するものではなく、建物の中に柱、壁などで耐震性のある一定の空間を造り、建物が倒壊したとしても、その中にいる方の命を守る設備である。これまで建物そのものの耐震化につながらないため導入を見送ってきたが、令和7年度から岐阜県が補助の対象としたことから、本市においても導入することとした。」との答弁がありました。

付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第8号	多治見市国民健康保険条例の一部を改正するについて	原案可決
議第10号	令和6年度多治見市一般会計補正予算（第7号）（所管部分）	
議第14号	令和6年度多治見市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	
議第18号	令和6年度多治見市病院事業会計補正予算（第2号）	
議第19号	令和7年度多治見市一般会計予算（所管部分）	
議第24号	令和7年度多治見市国民健康保険事業特別会計予算	
議第26号	令和7年度多治見市後期高齢者医療特別会計予算	
議第32号	工事請負契約の変更について	

いってもらうことを目的としている。今年度のステージイベントの応募状況は、1236席に対し3445席の応募があった。」との答弁がありました。

●議第26号 令和7年度多治見市後期高齢者医療特別会計予算

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に対する対象者への周知・啓発について質疑があり、「納入通知書や個別のお知らせなどの封書での案内、広報紙やホームページなどでの周知を考えている。本市だけではなく、医療機関や薬局などでマイナ保険証等の利用促進について御協力いただいているので、各関係機関と協力しながら進めていきたい。」との答弁がありました。